

令和7年度 飯豊中学校教職員 働き方改革アクションプラン

～職員の「生活の質（QOL）」向上を目指して（なくそうよ 定時帰りの 罪悪感）～

飯豊中学校では、「北上市教職員働き方改革プラン(R7～9年度版)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現 状

【定量的現状】

- ◆ 「北上市教職員働き方改革プラン(R7～9年度版)」目標達成状況について
「時間外在校等時間(週休日等の部活動従事時間を含む)が月45時間超の者を前年度実績より減少させる。」
・R7年度:目標10人(R6年度:12人) ※R6実績は月平均45h超(年間)
「時間外在校等時間が月80時間以上の者をゼロにする。」
・R7年度目標:0人(R6年度:2人) ※R6実績は月平均80h超(年間)

【定性的現状】

- 教職員の意識等
・本校で推進する部活動休養日の取組が全教職員に徹底されている。
・体育祭、文化祭、部活動延長等の時期に、45h以上の職員が増加する。
- 管理職のマネジメント
・新たな業務が発生した際、スクラップ＆ビルドの視点を持って業務見直し等の対応を行っている。

2 目標・目指す姿

<R7年度目標>

- 北上市教職員働き方改革プラン(R7～9年度版)」に掲げるR7年度の目標を達成します。
- 本校に勤務する先生方の「生活の質(QOL)」の向上を目指します。

<目指す姿>

- ・生徒への質の高い教育を持続的に提供し得る観点から働き方の見直しが図られている。
- ・業務改善について、教職員から積極的に提案がなされている。
- ・働き方改革に係る課題について、学校全体で共有し、その解決を図る場が定期的に設定されている。
- ・管理職が日頃から教職員と対話を行っている。
- ・教職員が、教材研究の時間を十分に確保できている。
- ・教職員がいきいきとやりがいをもって、生徒に向き合うことができている。

3 (2を達成していくための) 具体的取組内容

○ 教職員の健康管理

- ・各職員の仕事量、負担のバランスを整えた学校運営に取り組み、年次休暇をとりやすい環境を整えることで、全職員の心身の健康維持に努めます。
- ・勤務時間外の生徒・保護者対応の在り方について検討し、改善を図ります。
- ・休暇取得、医療機関での受診や検診を気兼ねなく行えるよう、管理職が教職員に積極的に声掛けをします。
- ・月の途中で月の時間外在校等時間が45時間超となった教職員に対して、当該時間を知らせるとともに、健康確保の観点から、声掛けをします。
- ・健康相談事業等、教職員の状況に応じ、共済保健事業の活用を促します。

○ 学校における業務改善の推進

- ・業務改善に向け、安全衛生委員会の充実を図ります。
- ・管理職が、業務改善について積極的に提案します。
- ・諸業務のデジタル化を推進することにより、業務の効率化を進めます。
- ・学校行事等については、安易にコロナ禍前に戻すことなく、教育において真に必要な観点から内容の見直しを進めます。(体育祭の午前開催等)
- ・保護者等への通知文書については、紙での配付を極力廃止し、メールでの配付・周知を行います。
- ・会議資料等のペーパーレス化を推進します。
- ・勤務時間外の電話対応を原則廃止し、留守番電話及びメールによる対応とします。

○ 学校及び教員が担う業務の明確化・適正化の推進

- ・校地内の環境整備については、PTAや地域の人材を積極的に活用し、よりよい教育環境の整備に努めます。
- ・PTAの活動について、その目的や教育効果の観点から精選を行い、関係者全員の負担とならないよう進めていきます。
- ・教職員の地域行事参加等について、学校の実情を踏まえて精選等を行います。
- ・働き方改革に向けた取組について、保護者の方に理解をいただけるよう、校報等で周知を図ります。
- ・休日の部活動については、保護者、地域の理解と協力をいただきながら地域移行を検討します。

令和7年4月1日 飯豊中学校長 八重樫 満

(参考)「北上市教職員働き方改革プラン(R7～9年度版)」(抜粋)

【策定趣旨】

- 働き方改革の実現により、未来を担う大切な子どもたちに、質の高い教育の持続的提供につなげる。

【プランの目標】市内小中学校の教員の時間外在校等時間の縮減

- (1) 時間外在校等時間(週休日等の部活動従事時間を含む)が月45時間超の者を前年度実績より減少させる。

〔・令和6年度実績(6月調査) 228人 割合 42.0%〕

- (2) 時間外在校等時間が月80時間以上の者をゼロとする。

〔・令和6年度実績(6月調査) 27人 割合 5.0%〕